

第 56 回臨床検査技師国家試験 に関する要望書を提出

去る 2 月 24 日に実施された第 56 回臨床検査技師国家試験を検証し、疑義問題の意見を要望書としてまとめ、3 月 5 日付けで厚生労働省へ提出した。以下は、その要旨である。

21 日臨技発第 235 号
平成 22 年 3 月 5 日

厚生労働省医政局医事課
国家試験係 御中

社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 小崎 繁 昭

第 56 回臨床検査技師国家試験問題に関する疑義について

当会臨床検査技師国家試験問題検討会で、第 56 回臨床検査技師国家試験問題を検討した結果、以下の試験問題において疑問点が指摘されました。その内容と意見を報告するのでご検討いただくをお願いします。

I 出題内容についての評価

今回の試験では基礎的な問題もあれば、1 つ解答がわかってもさらに次の思考を必要とする問題もあった。試験内容全般をみると妥当な問題が多く、出題傾向に偏りも見られなかったと考える。

II 国家試験内容の問題点

<午前問題>

問題 13 低血糖を特徴とするのはどれか

- 1. 肝硬変症
- 2. 先端肥大症
- 3. von Gierke 病
- 4. Cushing 症候群
- 5. ヘモクロマトーシス

◇問題番号：午前 13
◇意見：正解数は 2 つ
◇正解：1 と 3

肝硬変症では血統安定化に障害があるため、しばしば低血糖をきたすことがある。したがって正解のひとつになると考えられる。

◇根拠となる資料
臨床検査学講座・臨床医学総論/臨床検査医学総論 第 2 版(医歯薬出版、奈良信雄著、第 2 編 疾患と臨床検査 p377 に血糖値が低値になる疾患として肝硬変が挙げられている。

問題 43 大量摂取しても中毒にならないのはどれか

- 1. ビタミン A
- 2. ビタミン C
- 3. ビタミン D
- 4. ビタミン E
- 5. ビタミン K

◇問題番号：午前 43
◇意見：正解は 3 つ
◇正解：2 と 4 と 5

正解は 2 のビタミン C と考えるが、ビタミン E と K の過剰症は特に報告されておらず 4 および 5 も正解とすべきではないか。

◇根拠となる資料
ビタミンの辞典(2004 年第 5 刷出版)p117 127 日本ビタミン学会編集朝倉書店

問題 92 機器と測定対象の組み合わせで正しいのはどれか。2 つ選べ

- 1. 黒球温度計・・・気流
- 2. カタ寒暖計・・・輻射熱
- 3. ポケットチェンバー・・・外部被爆量
- 4. 検知管式ガス測定器・・・一酸化炭素
- 5. アスマン通風乾湿時計・・・感覚温度

◇問題番号：午前 92
◇意見：3 番のポケットチェンバーという表現は一般的でなくフィルムバッジと挙げるべきで可である。

◇根拠となる資料
臨床検査技術学 18 (放射性同位元素検査技術学 第 3 版、村中明・爲近美栄著 医学書院 2003p69 (ポケットチェンバーは記載無))

<午後問題>

問題 31 銅を輸送する主要な血漿蛋白はどれか

- 1. アルブミン
- 2. ヘモグロビン
- 3. ハプトグロビン
- 4. トランスフェリン
- 5. セルロプラスミン

◇問題番号：午後 31
◇意見：正解は 1 と 5
従来の考え方に従い、5 番のセルロプラスミンであると考えますが、教科書によっては銅の運搬は主にアルブミンとアミノ酸が行っていると記載されている。

◇根拠となる資料
Allan et.al, clinical biochemistry, p114-115 Foueth Edition 2008
臨床検査学講座 臨床化学検査学第 2 版、p285-287

問題 53 メセナミン銀液を使用するのはどれか

- 1. 鍍銀法
- 2. PAM 染色
- 3. ボディアン染色
- 4. グロコット染色
- 5. グリメリウス染色

◇問題番号：午後 53
◇意見：正解は 1 と 2 と 4
鍍銀は光や還元剤の力を借りずに銀イオンを還元し、組織または細胞中に銀粒子を沈着させることを意味する。鍍銀法は細網線維染色のみならず銀の還元染色を全部指すことになり、鍍銀法も正解となるのではないか。

◇根拠となる資料
病理学/病理検査学 p334 医歯薬出版 2000,5,30

<了>

【長迫哲朗】

